

環境DNA市民科学 参加型調査で 地域の生態系を見つめる

Environmental DNA Citizen Sciences - Keeping our Eyes on Our Local Ecosystems

地球温暖化、と言われても自分にできることはない、と感じておられる方も多いのではないのでしょうか。でも、地球全体の環境変化は身近な生態系にも影響を及ぼします。これを我々が自分たちで見守る手段の一つとして、「現場では水を汲むだけ」の環境DNAが市民調査や教育に導入され始めています。加えて多地点での観測も始まり、生態学の新分野として期待が高まりつつあります。本シンポジウムでは札幌・南三陸・福岡の3地点を結び、地域参加型の実践的な生態系見守り活動の工夫と手応えを発信します。「環境DNA市民科学」の可能性について各会場やオンラインで語り合しましょう！

FUKUOKA

九州大学

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

SAPPORO

オンサイト会場
北海道大学

北海道大学地球環境科学院 D201
札幌市北区北10条西5丁目
www.hokudai.ac.jp/bureau/property/ees/access/

MINAMISANRIKU

南三陸ネイチャーセンター

www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/8,17746,39,390.html

2021
11.21 (日) 13:00 ~ 15:30

札幌会場・開場時間 12:45

環境DNA学会第4回大会 一般公開シンポジウム

LIVE オンライン/会場 同時開催

参加無料
(オンライン・会場 共通)

事前予約制
(オンライン・CPD申請者)

**Zoom
ウェビナー**

※新型コロナウイルス感染防止のため、札幌会場へお越しの方には入室時の検温・消毒をお願いいたします。

一般公開シンポジウム企画・実行委員会

- 企画・実行委員長 清野聡子(九州大学)
- 企画・実行委員 近藤倫生(東北大学) 荒木仁志(北海道大学) 笠井亮秀(北海道大学) 峰岸有紀(東京大学)
- 実行委員 【札幌】藤井和也(北海道大学・福田水文センター) 三塚多佳志(北海道大学・パシフィックコンサルタンツ) 内海俊介(北海道大学) 根岸淳二郎(北海道大学)
- 【南三陸】鈴木将太(南三陸ネイチャーセンター)
- 【福岡】鶴木(加藤)陽子(九州大学) 高比良光治(九州環境管理協会) 大井和之(九州環境管理協会)

共催:環境研究総合推進費(JPMEERF20202004) 九州大学うみつなぎふくおか
シンポジウムに関するお問い合わせ ednameeting2021.sympto@gmail.com

www.edna2021.com

参加登録・詳細は、こちらのURLまたはQRコードから!



Program

- 開会 13:00
- 13:05~13:25 豊平川:サケが遡上する都市河川
有賀望(札幌市豊平川さけ科学館・札幌ワイルドサーモンプロジェクト) / 藤井和也・荒木仁志(北海道大学) 13:25~13:45
- 三陸沿岸:豊かな漁場
鈴木将太(南三陸ネイチャーセンター) / 近藤倫生(東北大学) 13:45~14:05
- 博多湾:都市の身近な海
九州大学・環境DNAイベント参加者・サポーター 14:05~14:40
- 【討議】環境DNAで調べた身近な水辺、こんなに面白い!
14:40~15:20
- 市民参加型・多地点環境DNAプロジェクトの紹介
近藤倫生(東北大学) / 笠井亮秀(北海道大学) / 山本朋範(科学コミュニケーター) 15:20~15:30
- 【総合討議】環境DNA×多地点×市民科学の可能性を語ろう!
進行:清野聡子(九州大学)
- 閉会 15:30